

柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合に関する個別プラン（答申）
に係る配慮事項について

1 新しい学校づくり

- ・ 3 つの学校でそれぞれ取り組んできた学びや取り組みの優れた点を継承・発展させるとともに、保護者、地域、学校と協力して、子どもたちがいきいきと学ぶことができる学校づくりを進められたい。
- ・ 東西校舎での統合校開校時及び新校舎完成時には、通学先が変わったり、児童数が増えたりすることから、子どもたちが新しい学校生活に順応していけるよう、交流活動や学校運営の準備など、開校に向けた取り組みを着実に進められたい。

2 通学の安全

- ・ 子どもたちの安全な登下校のために、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携するとともに、保護者、地域、学校と協力して、交通安全、防犯、熱中症対策等、安全対策に取り組まれたい。

3 施設整備の方向性

- ・ 統合校の施設整備にあたっては、「子ども中心の学び」の実現のために、個別最適な学びや協働的な学びといった観点に配慮した学習環境の整備を進められたい。
- ・ 本地域は、過去の災害被害の状況から、防災意識が非常に高いものと考えられるため、統合校の施設整備にあたっては、地域の意見を聴きながら、防災機能の充実に配慮されたい。
- ・ 柴田小学校及び千鳥小学校の跡地活用については、統合後の保護者や地域のつながりの確保に配慮し、子どもから高齢者まで交流や活用ができる、開かれた場所となるよう、関係部局と連携し、施設整備と並行して活用方法を検討されたい。